

優良福利厚生法人（経営課題対応部門）受賞

NECソリューションイノベータ株式会社

～特性を活かし、福利厚生に自社システムを活用～

NECソリューションイノベータ株式会社（以下「同社」）は、ハタラクエール2023において優良福利厚生法人（経営課題対応部門）として表彰された。同社は東京都江東区に本社を置くNECグループの社会価値創造をICTで担う中核企業だ。

システムの実装力を強みに、社会基盤をICTで支え、顧客価値の向上や社会課題の解決に貢献するSI・サービスを全国で提供しているのが特徴だ。

人財企画部の丸岡晶さんに同社の取り組みについて話を聞いた。

受賞のポイント

福利厚生表彰・認証制度の審査は、図表1の6つの評価軸でスコア化・評価している。同社は①経営課題への対応の評価軸のスコアが最も高かった。人事戦略は経営戦略にひも付いており、その実現に必要な人材育成のために、福利厚生を活用している。

福利厚生の実施目的、経営者・担当者の思い

「社員がプロとして成長し続け、心地よく安心して働くこと」を福利厚生制度の目的に掲げ、成長、健康、財産形成、住宅支援、育児、介護他、社員自らが自身に合った最適なサービスを自律的に選択できるよう、全社員に年間8万ポイント（8万円相当）を付与するカフェテリアプランを導入している。

また、同社は「人が財産」と定義し、社員の健康が全ての基盤と考え、健康経営（Well-being経営）に注力しており、「心身のコンディション」「働き方・働きやすさ」「働きがい・成長」「会社風土」の4側面から各種施策を推進している。

NECソリューションイノベータ株式会社 概要 (2023年1月23日現在)

業種	情報通信業
事業概要	情報サービス
従業員属性別数	正規従業員12,470人
非正規従業員	2,899人
非正規従業員の割合	23.2%
男女比	男性81%・女性19%
平均勤続年数	18.2年（正規従業員）
平均年齢	44.6歳（正規従業員）
多い職種	システムエンジニア

図表1 ハタラクエールの審査6分野

(太字が高く評価された項目)

評価軸	評価内容
①経営課題への対応	自法人の人事・労務上の課題をどれほど把握し、その課題に福利厚生の活用でどれだけ対応しているか
②現状把握	福利厚生の目的をどう位置付け、福利厚生がどれだけ効果を発揮しているかを把握しているか、把握の方法はどうしているか
③制度充実	福利厚生制度をどれだけ整備しているか、さらに現状を踏まえて今後充実の方向性はあるか
④運用充実	実施している福利厚生制度が十分利用されているか、正社員だけでなく非正規社員を含む多様な従業員にも福利厚生が適用され、利用されているか
⑤福利厚生への熱意	経営者および福利厚生担当者の福利厚生取り組みへの理念・ポリシー・思いは十分か
⑥その他	自発的離職の程度等

ICTで健康経営・働き方改革を推進

NEC 健診結果予測シミュレーション 健康診断の結果などからAIが未来の健康状態を予測するシステムで、健康リスクを伴う社員に対して生活改善に向けた意識付けをしている。

健康ミッションアプリ アプリを通じて健康に関する行動を促している。アプリは、チームで参加できる機能があり、ミッション達成に向けて仲

間と声を掛け合い、競い合いながら健康になるという仕掛けが凝らされている。

これまで数百人程度だったアプリの利用者は、最近では1,500人を超えるなど、徐々に利用が拡大している。ミッションを達成することで得るポイントは、社会貢献団体などに寄付しているという。

NEC 働き方見える化サービス Plus 勤怠システムと連動し、PCへのログイン・ログアウト時刻を自動記録する。また、マウスやキーボードの動きを通じて社員の忙しさや負荷度合が分かるほか、使用しているソフトなども把握できる。

誰がどんな仕事をしているかも分かるので組織マネジメントにも活用している。

その他特徴のある福利厚生

1on1 月1回30分～1時間、原則として直属の上司と部下で未来に向けた対話「1on1」を実施し、関係性を構築した上で、社員のキャリア、会社の将来について互いに理解を深めている。この結果は匿名のデータとして社内システム上に公開され、社員が内容を共有できる仕組みになっている。この他、社内チャット上で感謝と称賛のステッカーを贈り合えるアプリを導入し、会社風土のベースづくりにつなげている。

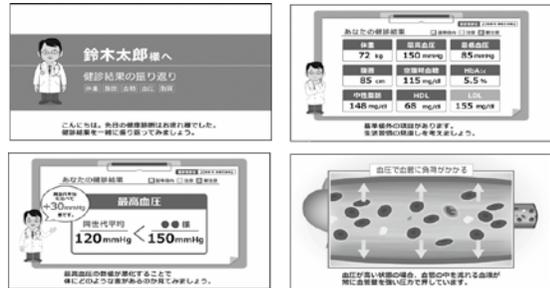
障がい者活躍の場と各種支援 視覚障がい者のあん摩マッサージ指圧師を雇用し、就業時間中に社員が施術を受けられる制度を導入している。

また、視覚や聴覚などに障がいがある社員に対し、その障がいに応じた会話支援アプリやソフトを貸し出して就労を支援している。オフィスのバリアフリー化、多目的トイレを設置し、本社にはオストメイト（お腹に人工肛門・人工膀胱を造設した人）に対応したトイレも設置している。

育児や介護と仕事の両立支援 育児や介護の支援施策をカフェテリアプランに盛り込み、費用面で仕事との両立を支援している。年間8万ポイントのカフェテリアポイントとは別に、育児ポイント（未就学児1人に対し10万ポイント）、介護ポイント（3万ポイント、祖父母まで利用可）が付与されるため、利用できるサービスの幅は広がる。

育児や介護支援サービスとしては、ベビーシッターや保育施設のサービス利用、家事代行、各種介護サービス、要介護者との面会に必要な交通費

健診結果の解説動画



図表2 主な福利厚生制度

福利厚生の領域	実施している施策
住宅	住宅、持ち家資金の形成支援（住宅財形など）
医療・健康	予防接種、禁煙支援、人間ドック、生活習慣改善支援、健康情報、社内エクササイズ教室、スポーツ・フィットネス施設、感染症予防対策
保険保障	総合福祉団体定期保険、遺族・遺児育英年金：従業員死亡後の家族の生活を支援するための長期的な給付制度など
両立支援	保育関連施設、ベビーシッター等の育児サービスの費用補助、出産・育児に関する相談窓口等、情報・コミュニティの提供、介護費用補助、相談窓口等
生活支援	社員食堂、昼食補助、リモートワーク勤務者への費用補助、各種相談窓口、慶弔関連給付、レジャー・旅行、宿泊・保養施設
資産形成	資産形成支援制度、従業員持株会、ライフプランセミナー
自己啓発	外部セミナー・研修会、資格取得支援
社内コミュニケーション	クラブ活動、社内イベント・懇親会
その他	自己啓発・海外留学・ボランティア活動支援、慶弔・私傷病の療養、リフレッシュ・アニバーサリー休暇、子育て関連休暇、病欠休暇

の支援など。また、育児や介護の無料相談窓口サービス（社外）も設けている。

制度の運用と充実 適宜アンケートを通じて社員の声を集めている他、年1回実施するサーベイ（回答率9割）を基にしてニーズを把握している。これにより必要に応じて新しい施策を考え、既存の施策をブラッシュアップしている。

同社は「Well-being経営を進めることにより労働市場から選ばれ（アトラクト）、社員にとって魅力的（リテイン）な会社を目指したい」としている。